

「デジタル帰宅部」で高校生が考えた新たな施策がマインクラフト上に完成！

## 坂井市長への最終報告会を開催

日時：令和7年12月20日(土)13時～15時00分

場所:坂井市役所 3 階災害対策本部室

高校生が地域のさらなる活性化施策をマインクラフト上で提案・視覚化するプログラム「坂井市デジタル帰宅部」の活動が終盤に入り、12月20日(土)に参加した高校生らが自ら考えた施策を坂井市長へ最終報告をします。当日は部活動内で講義をしていただいたマインクラフト教育の第一人者であるタツナミシュウイチ氏や、坂井市エキサイト大使の福井のカズさんも臨席し、ご講評いただきます。

併せて、今回で2回目となる「アナログ企画部」による、昨年度の市に提案したまちづくり施策の実現性・有効性を検証する活動についても「アナログ企画部」のメンバーより、検証結果を発表します。

「デジタル帰宅部」「アナログ企画部」で活動する高校生が一堂に集まり、約半年の活動の中で考えた「世界中に自慢したくなる坂井市」をぜひ取材いただきますようお願いします。

## デジタル帰宅部とは

2023年度から始動した「坂井市デジタル帰宅部」は、「東尋坊」や「丸岡城」、「三国湊」など本市にある観光名所の一帯が再現されたデジタル空間上（マイクラフト）で、これら地域のさらなる活性化施策についてアイデアを出し合う事業。

提案されたアイデアは市政への反映を目指してブラッシュアップを重ねていきます。本事業は、アクセンチュア株式会社が社会貢献活動の一環として、カリキュラムの開発や事業計画策定などで支援しています。加えて、ブラッシュアップの期間には、アクセンチュア株式会社の外国籍社員も参加し、オンラインで議論、アイデアを深めています。今年から新たな取り組みとして、高校生たちはアクセンチュア社員から生成 AI の先進的な活用方法を学び、仮説検証や施策立案など、活動のあらゆるフェーズで生成 AI を積極的に取り入れました。

## ■イベント詳細

## ○最終報告会

日時:令和7年12月20日(土) 13時00分~15時00分

※詳細は、別添資料①を参照

場所:坂井市役所 3 階災害対策本部室

(坂井市坂井町下新庄 1-1)

概要：市政への反映を目的とした坂井市の活性化施策を  
坂井市長へ報告します。

参加者:高校生15名程度

※デジタル帰宅部の東尋坊、三国湊、丸岡城の3つのチームと  
アナログ企画部の1チームが最終報告を行います



## 本件に関するお問い合わせ

福井県坂井市総合政策部企画政策課 北島・長谷川 TEL.0776-50-3013

メール: kikaku@city.fukui-sakai.lg.jp

## タツナミシュウイチさん

マイクラフト教育の第一人者

東京大学大学院 客員研究員、常葉大学 客員教授、NASEF JAPAN 理事、

Minecraftカップ全国大会審査員長。

### <プロフィール>

2018年マイクラフトマーケットプレイスにてアジア初、日本初の作品をリリースし

マイクラフト活用業務を開始。2021年9月 Microsoft Innovative Educator

FELLOW の称号を米マイクロソフト社から授与。情熱大陸（毎日放送）マツコの

知らない世界（TBS）有吉いいeeee!（テレビ東京）など地上波番組にマイクラの

第一人者として出演しマイクラフトの学習効果について広く発信。現在もマイクラフトをプラットフォームとした学習教材制作や活用を研究中。



### ■今年度の活動の様子



## ■当日のスケジュール

別添資料①

開始	終了	コンテンツ	詳細
13:00	13:10	オープニング	
13:15	14:25	最終発表	東尋坊・三国湊・丸岡城の3チームとアナログ企画部の発表 各チーム10分で最終報告 →質問を坂井市長、アクセント・チャレンジ株式会社、タツナミ・シ・ユ・ウイ・チさん、福井のカズさんが行う
14:25	14:35	活動終えて感想	活動を振り返って、高校生代表3名が発表
14:35	14:45	【総括】	坂井市長、副市長、アクセント・チャレンジ株式会社、タツナミ・シ・ユ・ウイ・チさん、福井のカズさんから講評
14:45	14:50	修了証授与	高校生代表者に修了証を授与
14:50	15:00	記念撮影	全員で記念撮影

※一部のみのご取材も可能ですのでご相談ください

※最終報告会当日は、閉会式となっており施錠しております。取材を希望されます方は、12月17日(水)までに担当までご連絡ください。

※記念撮影後に、質疑応答の時間を設けております

## ■アクセント・チャレンジの社会貢献活動

アクセント・チャレンジは、より持続的で責任ある世界経済の実現に向け、クライアントやパートナー、地域コミュニティと協力しながら社会的課題の解決に取り組んでいます。なかでも事業活動を通じて培った「人材のスキル発揮を高めるノウハウ」を活かし、高い実行力を持ったNPO団体等と協力して、各国・地域固有の実情に合わせて選択した“人材スキル向上”に関する諸テーマを推進しています。2024年度は世界各地の約500万人に対してスキル向上の機会を提供しました。活動にあたっては社員の直接参加を重視しており、取り組みの企画から実行まで、多様な専門知識をもった多くの社員が主体的に参画しています。社員の「時間とスキル」の積極的な提供を通じて、標準化、IT活用、定量的管理、継続的改善といったさまざまなビジネスの手法を社会課題解決の領域に持ち込み、社会的インパクトを最大化することが私たちのミッションであると考えています。

アクセント・チャレンジの社会貢献活動については、[www.accenture.com/jp-ja/about/corporate-citizenship](http://www.accenture.com/jp-ja/about/corporate-citizenship)をご覧ください。